



の が き 野垣あきこまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2023年8月2日 No.159 連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

まちづくりを住民本位に!

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり 対話の場が実現

前区政が進めてきた阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりは、屋敷林の伐採や杉一小の移転など、多くの問題を引き起こしました。私はこの問題を調査し、何度も議会でも取り上げてきました。岸本区政のもと、62本の樹木を区が伐採したことをどう考えるか、と質すと、「貴重な樹木が伐採されてしまったことは非常に残念」と区長は答弁。ゼロカーボンの視点の必要性を地権者と病院に説明することや、情報共有など透明性を高めることを強調しました。



▲杉並第一小学校は今より3.5mも低い河北総合病院の跡地に移転する予定になっている。

杉並区は、8月31日に「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを振り返る会」を開催します。私が議会でも求め続けてきた、阿佐ヶ谷駅北東地区における住民との対話の場が実現する見通しです。**住民との対話の場が実現 住民や商店街からの意見聴取を**

今はけやき屋敷の跡地で病院の建設工事が行われていますが、区は「公民連携まちづくり」と称して、病院や地権者を中心にエリアマネジメントという手法を使い、株式会社計画工房と何年にもわたり年間約500万円の委託契約を続けてきたことも問題になっています。また、このエリアを無電柱化するための電線共同溝の設計の予算を今年度計上しています。

広報すぎなみでは、「阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりの経過を振り返り、今後のまちづくりの進め方について皆さんと考えます。これまでの取り組み等について区から説明し、参加者からのご質問にお答えし、ご意見をお聞きます。なお、学識経験者も必要に応じてコメントします。」としています。今後、区の進める公民連携まちづくりを住民本位の取組にできるのかを問われています。担当の小池めぐみ区議とも連携し、区民のみなさんの声を届けるために頑張ります。

阿佐ヶ谷駅北東地区 まちづくりを振り返る会

日時 8月31日(木) 18時~20時

場所 阿佐ヶ谷地域区民センター

テーマ

これまでの取り組み、今後のまちづくりの進め方、杉並第一小学校の移転改築ほか

登壇者 杉並区長・岸本聡子

早稲田大学教授・卯月盛夫

千葉大学准教授・竹内智子ほか

定員 120名

申し込み

8/14までに区役所の市街地整備課土地利用計画係まで。

電話 3312-2111 (代表)

結果は当選者のみに 8/23 までに通知します。

広報すぎなみ 8月1日号より

带状疱疹ワクチンの費用の助成制度が始まっています



带状疱疹ワクチンの説明

種類	乾燥弱毒生水痘ワクチン	乾燥組換え带状疱疹ワクチン
種別	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
発症予防効果	50～59歳で69.8%、60歳以上で51.3%	50歳以上で97.2%、70歳以上で89.8%
助成額	1回当たり5,000円	1回当たり10,000円
助成回数	1回まで	2回まで

(杉並区HPより)

区内の契約医療機関は右のQRコードから確認できます。事前に連絡してから接種にお出かけください。



杉並区では4月から、带状疱疹予防接種について、費用の一部助成をしています。助成を受けられるのは、区内の契約医療機関で予診票は契約医療機関に備えてあり、事前の手続きは不要です。

申請の必要はなし 接種日に50歳以上の区民対象

带状疱疹は、水ぶくれを伴う発疹（水疱）が、皮膚に分布している神経に沿って帯状に出現する病気で、胸、背中、腹部、顔、頭部などに発症します。

子どもの頃などに水ぼうそうに罹ったことがある人は、ウイルスが体内に潜伏していて、誰でも発症する可能性があります。50歳以上で発症率が上がり、80歳までに約3人に1人が発症すると言われています。

予防接種は2種類（左表参照）あります。助成の対象は、接種日に杉並区に住民登録があり、満50歳以上で、契約医療機関で今年4月1日以降の接種に限ります。費用助成が受けられるのは、生涯に一度で、いずれか一方のワクチンに限ります。

任意接種のため接種金額は医療機関ごとに異なります。医療機関の定める金額から、区の助成額を差し引いてお支払いください。

野垣あきこ地域学習会

ビルマ(ミャンマー)はどんな国?



8月27日(日)15時半～
井草地域区民センター

資料代 200円

杉並在住のミャンマー人ご夫妻が講師です。

保険証廃止・マイナンバーの強制やめて署名にご協力を!

ご自宅に署名用紙をお届けしますので、ご連絡ください。回収にも伺います。



あきこの部屋

として、素晴らしい内容でした。この夏、区は、広報すぎなみで光友会の被爆者を紹介したり、中央図書館では漫画を通じて原爆被害を伝える平和展を開催しています。子どもや若者に被爆体験や平和の尊さを継承するため努力する区の姿勢に、区長の思いが表れていると感じます。



7月26日、国民平和大行進に参加してきました。猛暑の中でしたが、50名の区民が参加し、杉並区役所から中野の杉山公園まで、青梅街道を核兵器廃絶をつたえて行進しました。

通行人やお店の方も手を振ってくれ、市民の平和と核兵器廃絶への願いを実感しました。

区役所前での出発式では、岸本区長からのメッセージが読み上げられました。原水爆禁止署名運動発祥の地の杉並区の区長